



昼間は車で待機し対応

熊本県嘉島町・光恩寺

熊本県嘉島町・光恩寺の本堂は、軒が落下し大きく傾いた。かろうじて柱が支えている状態だ（5月12日撮影）。庫裏も同様であった。

佐々木順信住職（49）は「震災直後は近くの小学校の運動場で避難生活をしていたが、空き巣が入らないか心配で境内に車を停めて寝た。1LDKのアパートに家族5人が仮住まいしながら、昼間はお寺の保育園と法務を行い、家族は境内に止めた車で待機して訪れる門徒や来客の対応をしている」と話した。